

SEINAN JO GAKUIN UNIVERSITY, FACULTY of HUMANITIES

DEPARTMENT of ENGLISH

2012



meet class friendship movies abroad TOEIC EIKEN pronunciation events diversity communication

share discuss travel camp

lecture vocabulary English

collaborate cultures support



魅力・知力・創造力
 決め手はあなたの人間力
 飛び立て英語の翼に乗って

西南女学院大学
 人文学部 英語学科

英語学科 2年生 水上 怜 さん

英語学科 2年生 水上 悠 さん

英語学科では、「英語コミュニケーション力」を備えた学生を育てます。



What?

英語コミュニケーション力 = $\frac{\text{英語力}}{\text{社会人基礎力}}$

いま 社会でさかんに求められている「人間力」とは、基礎学力や専門知識とともに「社会人基礎力」すなわち「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を備えていることだと言われています。これはまさしく、英語コミュニケーションの世界が基盤としている力そのものです。英語コミュニケーション力とは、いうまでもなく、単なる英語力のことではありません。英語を媒介として他者に働きかけ、自己の考えを深め、よりよい状況を目指してともに働くことのできる力のことです。英語学科の教育が目指すのは、高い英語力と「社会人基礎力」をあわせ持つ「人間力」にあふれた英語コミュニケーションを育てることです。



- ◆ 四技能(聴く・話す・読む・書く)を徹底指導しています。
- ◆ 経験豊かなネイティブ・スピーカー陣を中心とした学内外での「英語使用空間」プログラムが充実しています。
- ◆ 「英検」・「TOEIC」・「TOEFL」等の対策を強化しています。
- ◆ 毎年プレースメントテストを実施し英語力を診断します。
- ◆ 2年次に2つのコース(英語スタディーズコース、英語メディアコース)を設定しています。
- ◆ 2年次後学期に半年間の海外留学を可能にしています。
- ◆ 就職関連科目を充実させ就職のサポートを強化しています。
- ◆ 学内外での各種スピーチコンテスト参加者への入念な個人指導を行っています。
- ◆ 教職課程履修者への基準を設け指導を強化しています。
- ◆ 教育実習前の発音個人矯正指導を入念に行っています。



ESS activities

Seinan Jo has a very active "ESS" circle. We take part in speech contests, enjoy english activities, and have a summer trip every year! 本学にはとても活発なESSがあります。メンバーはスピーチ・コンテストへの参加や英語での各種の活動、毎年夏の旅行などを楽しんでいます。



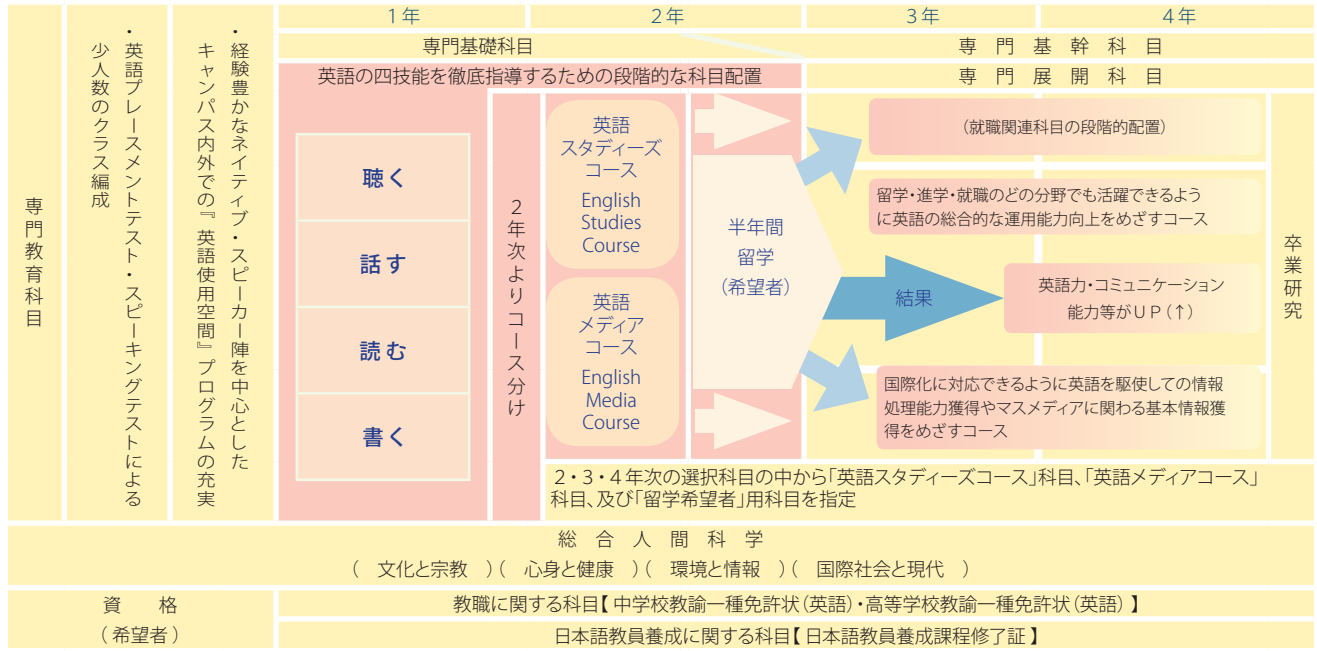
第23回マッケンジー杯英語暗誦大会優勝



Become a woman who can communicate on the world stage...



2012年度 英語学科 教育課程の展開



How?

キャンパスは「英語使用空間」

英語 学科では、授業はもちろん、English Camp やスピーチ・コンテスト、英語劇、コーラスなど、学生自身も企画・運営に参加し、英語を楽しみながら「使う」機会が豊富に用意されています。ネイティブスピーカー教員や留学生だけではなく、日本人学生同士や教員とも英語で話し、活動する日常をつくりだすことによって、語学だけではない英語コミュニケーション能力そのものを身につけていきます。豊富な英語イベントは、授業で身につけた成果を実際に試すチャンスでもあり、さらなる学習動機へとつながっています。



	行事名	対象学年
4月	Hanami Event	全学年
4月～2月	English Lectures	全学年
毎月	Extended English Discussions	全学年
5月	English Camp	1年生・2年生
8月	ESS Camp	全学年
8月～9月	Cultural Studies Abroad	3年生・4年生
10月	Mallory Cup English Speech Contest	小学生・中学生
10月	Zion English Speech Contest	1年生・2年生
10月、2月	Cultural Events	全学年
11月	Movie Month	全学年
12月	Christmas Intensive	1年生
2月～3月	Study Abroad	1年生・2年生

Open your mind, stretch your boundaries, and find yourself...



Where?

海外語学研修・海外実習プログラム

「心の国境を越えたら、本当のわたしが見えてきた…」

外国で英語を学ぶ理由は、英語力を上達させるためだけではありません。新しい文化や経験に心を開き、よりパワフルで自立した女性となり、無限の可能性へ向かって扉を開くことなのです。西南女学院大学の英語学科では、外国で勉強する様々なプログラムを提供しています。

授業の一環として

1年間の学習が終了すると、2年次に「English Studies Course」と「English Media Course」に分かれます。そして、2年次の後学期に、希望者は半年間の海外留学が可能です。留学先は本学と協定を結んだ大学になります。例えば、英国のウィンチェスター大学(The University of Winchester)が代表例です。帰国後は単位互換が認められ、留学期間を含め4年間で卒業が可能です。



自由参加プログラム

全学年を対象とした約4週間の短期語学研修プログラムでは、全期間中滞在先の家庭にホームステイしながら大学で英語やその国の文化・歴史に関する授業を受けます。近郊の名所見学や地域の人々との交流も行われます。実施時期は、2月中旬から3月中旬頃までです。



授業の一環として

3年次の授業科目「文化交流研究」では、4月から本学キャンパスで講義を受けた後、夏休みに約3週間海外の大学で現地文化研究を行い、履修単位が与えられます。テーマとなる国はアメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなど年度によって変わります。また、2年次から4年次にかけて、他学科と共通の「海外研修」でも単位履修が可能です。

日本語教育実習

日本語教員養成課程を履修する学生は、海外の大学での教育実習プログラムに参加できます。



日本語教師アシスタント

日本語教員養成課程履修の有無に関わらず、本学在学中(但し卒業には5年必要)、または卒業後の1年間オーストラリアの学校の日本語教師アシスタントとして現地での日本語教育に携わりながら英語を学ぶことができます。





Develop your skills and build your qualifications!

How?

英語教員免許状、日本語教員養成課程修了証

英語教職課程で将来に向けた攻めのキャリアアップを!

英語 教師への道は、決して容易とは言えませんが、4年間で培った英語力をフルに活かすことのできる貴重な職域の一つです。そのために、英語力を徹底して伸ばすこと、次いで、しっかり子どもたちと向き合う姿勢を伸ばすことが重要です。英語教師を目指す者にとって、この二つは最も基本的な要点です。卒業までに、37単位を取得しなければなりません。これらは卒業単位には含まれません。それだけに、強い意思と学習に取り組む積極性が求められます。カリキュラムの内容は、教育系の大学に比べても決して劣りません。「英語教科教育法」だけを例に挙げても、I~Vまであります。また、新たな可能性を開くために小学校の英語教育関連の科目も含まれています。4年次の教育実習では、中学・高等学校の教育現場で生徒たちへの英語指導を経験します。行き届いた指導と学生たちの不断の努力が実を結んで、英語学科の教職過程を終えた5名の卒業生が、この春から中学・高等学校の教育現場で英語教員として活躍しています。

英検、TOEIC、TOEFL

試験対策として1年から4年次まできめこまかい「英語資格演習」を設定し、試験に強い英語力を鍛えます。

- ◆ 英語資格演習 I (英検)
- ◆ 英語資格演習 II (TOEIC)
- ◆ 英語資格演習 III (TOEIC)
- ◆ 英語資格演習 IV (英検 & TOEIC)
- ◆ 英語資格演習 V (TOEFL)



小学校外国語活動関連科目

- ◆ 小学校英語教育入門
- ◆ 小学校英語教育研究



本学科 の日本語教員養成課程修者は日本語教員として九州でも高い就職実績を誇っています。充実した科目設定はもちろん、国内外の大学や日本語学校で行う独自の実習プログラムが「実践に強い」学生を育てています。卒業後に海外での就職を希望する学生にとっては、日本語教員はもっとも実現可能性の高い分野です。また国内でも、日本語学校だけでなく定住外国人の子どものための公立小中高校での日本語指導など日本語教師の活躍の場はますます広がっています。また、現在までに25名の学生が1年間のボランティア活動で、オーストラリアのカレッジ(中高一貫校)の日本語教員アシスタントとして教壇に立っています。

2002年の課程開設以来の就職実績(延べ人数)

就職先	人数
中国の大学教員	2名
中国の日本語学校専任教員	4名
国内日本語学校専任教員	4名
国内日本語学校非常勤教員	3名



You can become whatever you wish...

株式会社 キューリン



井上 紗由美さん (橋本ゼミ)
■ 筑紫女学園高等学校出身

私は、就職活動は本当に「縁」だな、とその活動を終えた今感じています。就活ではたくさんの企業から不採用の通知を受け取ることがあるかと思います。実際私もそうでした。そこで、自分が毎回行っていたのは、「なぜダメだったのか」を分析するという作業です。その分析を踏まえて次はどうすればよいかを考えることで、自分自身を客観的に見ることができ、それが自分の成長につながりますし、自分を知るという意味でとても有意義な時間になります。できることをすべて終えたら、あとはその企業と「縁」があるかどうかです。私も、内定をいただいた会社の面接の時には全く緊張せず、リラックスして素の自分で受け答えをすることができていました。素の自分を見てもらうことは本当に大事だと思います。ですから、これから就職活動をなさる皆さんには、落ちた数=恥、ではなく、落ちた数=自信、だと前向きに考え、自分と「縁」のある会社に出会って欲しいと思います。

私は、就職活動は本当に「縁」だな、とその活動を終えた今感じています。就活ではたくさんの企業から不採用の通知を受け取ることがあるかと思います。実際私もそうでした。そこで、自分が毎回行っていたのは、「なぜダメだったのか」を分析するという作業です。その分析を踏まえて次はどうすればよいかを考えることで、自分自身を客観的に見ることができ、それが自分の成長につながりますし、自分を知るという意味でとても有意義な時間になります。できることをすべて終えたら、あとはその企業と「縁」があるかどうかです。私も、内定をいただいた会社の面接の時には全く緊張せず、リラックスして素の自分で受け答えをすることができていました。素の自分を見てもらうことは本当に大事だと思います。ですから、これから就職活動をなさる皆さんには、落ちた数=恥、ではなく、落ちた数=自信、だと前向きに考え、自分と「縁」のある会社に出会って欲しいと思います。

英語学科は「堅実に育てます！」

英語および母語でのコミュニケーション能力をつけさせます。

「社会人基礎力」として必要とされている「3つの力」を意識しながら、社会が求める人材を育成します。

3つの力とは：

「前に踏み出す力(アクション)」

「考え抜く力(シンキング)」

「チームで働く力(チームワーク)」

職場や地域で活躍するために必要となる総合的能力が身につきます。

堅実な就職先が見つかります。

アジア技研株式会社



所 敬子さん (ウールブライトゼミ)
■ 福岡県立北九州高等学校出身

会社の成長に関わるかもしれないという魅力があると思います。私が内定をいただいた「アジア技研株式会社」は、同様な企業は日本に4社ほどしかないという珍しい企業です。その将来性に惹かれ志望したので、志望動機にはかなりの時間を費やしました。一次面接も最終面接も社長にいただき、その時に私の気持ちが伝わったと感じ、すごく嬉しかったです。就職活動は本当に辛いものだと思いますが、企業に対する自分の熱意を持って頑張ってください。

私が就職活動において大事だと思うのは「大手志向を捨てる」ということです。私も就職活動を始めたばかりの時は、大手企業を中心にエントリーしていました。しかし、大手だけに、選考は厳しく、エントリーシートの選考ですら通過できませんでした。その時の自分は、給料をたくさんもらえて福利厚生も整っているというイメージだけで大手企業を志望していましたが、中小企業でも、福利厚生が整っていて、自分の長所を活かせる企業がたくさんあることを知りました。中小企業には、自分が

イッテイジャパン株式会社



阿部 文香さん (西岡ゼミ)
■ 福岡県立直方高等学校出身

るし、きっと自分と縁のある会社は見つかるはずだと、自分に言い聞かせました。そこから私は気持ちを切り替えて就職活動を行った結果、無事に内定をいただくことができました。振り返ってみると、やはり大事なことは、諦めない気持ちと自分に自信をもつことだと思います。厳しい就職状況が続きますが、自分と縁がある会社が必要であることを信じて行動することが、就職戦線を勝ち抜く最大の武器だと思います。

私は現在のように就職氷河期と言われる時代に就職活動を行うなどとは思っていませんでしたが、実際、就職活動を始めてから面接の過程までを数えきれないほど体験しました。結果が出ないまま活動をすると、自己嫌悪に陥る日々が続く時には就活が嫌になったこともありました。しかしながら、そこで気付いたことは、たとえ気分的に落ち込んでしまっても決して諦めてはいけないということでした。落ち込んでいるのは自分だけではなく、周りにも同じ境遇にいなから頑張っている人たちはい

英語学科卒業生の主な就職先

- ◆ **運輸業:** 全日本空輸、ANAエアサービス、スターフライヤー、日本通運、宮崎交通
- ◆ **製造業:** 新日本製鐵八幡製鐵所、マツモト
- ◆ **金融・保険業:** 山口銀行、大分みらい信用金庫、第一生命保険
- ◆ **販売・小売業:** 資生堂販売、コーセー化粧品販売、イトキン
- ◆ **その他:** TBWA/HAKUHODO、ホテルウイングインターナショナル、ヤフーカスタマーリレーション、ジャパンイマジネーション、ジェイアール西日本広島メンテナンス、西鉄旅行、日旅サービス、エルクホームズ、アジア技研、新小文字病院
- ◆ **英語教員:** 佐賀県立多久高等学校、常磐高等学校、就実高等学校(岡山)、折尾愛真中学・高等学校、北九州市立門司中学校、北九州市立城南中学校、行橋市立中京中学校
- ◆ **学校職員:** 北九州市立花尾小学校
- ◆ **日本語教員:** 大連大学教員(2名)

大連大学(日本語講師)



原田 秀美さん (スワンソンゼミ)

■ 星琳高等学校

私 が就職活動を開始したのは3年次の夏が終わる頃でした。始めは何かから手をつけて良いのかよくわかりませんでした。とりあえず多くの会社説明会に参加しました。その中で少しずつ、自分は何がしたいのか、何が自分に向いているのか等がわかるようになってきました。しかし、事はそんなにうまく運びませんでした。履歴書やエントリーシートは数えきれないくらいたくさん書きましたし、数社の面接も受けましたが、全部ダメでした。そこで、気分転換のつもりで、日本語教員の海外教育実習(中国)に参加することにしました。実習先では日本と現地での教え方の違いに驚かされました。そんな中、私は中国語が話せるということもあって、現地で、就職のお誘いをいただきました。私の例のように、チャンスはいつでも、どのような形で現れるか、誰にも想像が付きません。ですから、チャンスと思ったそのときに、それをしっかり掴めるかどうか就職先を選ぶ決め手になると思います。

ヤフーカスタマーリレーション株式会社



中村 真理菜さん (阿部ゼミ)

■ 山口県立豊浦高等学校出身

私 は大学3年次の夏休みから自己分析を始め、その結果、やりたい仕事はどんな仕事なのか、自分の長所・短所は何なのか等に気付くことができました。自らの体験では、実際の面接の場面でも自分自身をしっかり理解している人の方が自己アピールが上手だったように思います。私の場合、就職活動をするにあたっては、実家から通って福利厚生が充実している会社にこだわりました。内定をいただいた会社はこの2つの希望をどちらも満たしていたので、正に理想

の会社でした。大事なことは具体的なイメージを持つことです。例えば、希望する職種、環境、給与等を決め、自分の理想の仕事を見つけて下さい。そうすれば、満足のいく就職活動が行えます。また、自分では気付かない事が意識できる良い機会ですので、周りの人にご自身を分析してもらうことも大変参考になります。後輩の皆さん、自分のやりたい仕事を目指して努力して下さい。

第一生命保険株式会社



白石 亜莉紗さん (山本ゼミ)

■ 福岡県立東鷹高等学校出身

最 も厳しい就職氷河期に、就職活動を開始した私が内定をいただくまでの道のりは大変長いものでした。始めの頃は何かかかると思い甘く考えていましたが、本格的に就活を開始してみると、上手く行かず何度も自信を失いかけてました。しかし、自分に何が不足しているのか、自分は何がしたいのかということを考え直してみようと思い、就職課に相談してみました。課員の方に私の話を聞いていただくことで、自分では発見できなかった部分に気づき、これまで考えても見なかった職種について貴重なアドバイスが帰って来ました。このことから、就活で大事なことは

自分を見直すことだと思いました。自分のことは自分が一番分かっていると思いますが、客観的に見ようとする事で新たな自分を発見できます。そんな心の切り替えが内定へとつながる転機になります。学内では、学科の先生方や、就職課のスタッフの真剣なサポートが得られます。人生で就職活動に取り組むのはほんの僅かな時間です。その時間を有意義なものにするためにも、後輩の皆さん、後悔ないように精一杯取り組んで下さい。

「英語学科」ってどんなところですか？

キャンパスは英語使用空間!!

西南女学院大学の英語学科では、キャンパスにしながら海外留学をしているかのような「英語使用空間」づくりを目指しています。Native Speakerの先生や提携校からの留学生だけではなく、日本人学生同士や教員とも英語で話し、英語で行事を行い、英語でキャンパスライフを楽しみましょう。もちろん、今のあなたが英語が得意である必要はありません。英語を「使いながら覚える」ことで自然に英語力が身につきます。

そのために、日常の授業だけでなくEnglish CampやSpeech Contest, Christmas Intensive, 英語劇、コーラスなど、英語を楽しみながら「使う」機会が用意されています。また、Native Speakerの先生方の研究室はいつもオープンですから、ランチタイムや授業の空き時間に学生たちは英語でコミュニケーションを楽しんでいます。

現在の習熟度にかかわらず、英語をあなたの第二言語として「使いながら覚える」ために、ぜひこのキャンパスに「留学」してください。

ミッションスクールってどんなところですか？

1年生全員が、週一度チャペルで心静かにお話を聴き、讃美歌を歌うチャペルアワーがあります。スタンドグラスから射し込む光を浴びながら奏楽やハンドベルの演奏に耳を傾けるひとときは、西南女学院生にとって大切な時間となっています。

アドバイザー制度って何ですか？

学生一人ひとりにアドバイザーの先生がついていますので、勉学のことだけでなく学生生活全般にわたって何でも安心して相談してください。自分の興味や進路の希望に応じた科目をアドバイザーの先生と相談しながら選び、それぞれの学生にもっとも適したカリキュラムを作りあげることができます。

就職先はどんなところですか？

英語学科の前身である西南女学院短期大学の英語科は特に航空関係では全国的にも高い就職実績を誇っていました。英語学科卒業生の就職率は経済不況にも関わらず9割程度に達しています。就職先は、航空・ホテル・旅行会社・銀行・商社、メーカー等の企業や英語教員、日本語教師と様々です。

授業以外の時間はどのように過ごしますか？

いちばん人気はカフェテリア。学内2ヶ所のカフェテリアは、ランチタイムには席の争奪戦があるほどです。お天気がよい日には、コンビニのような生協ショップでお弁当を買って、パティオで食べれば、カフェ気分。ショップでは、お弁当から専門書、パソコンまで割引価格で購入できます。図書館も学内のオアシス。お目当ての本はパソコンで簡単に検索できるシステムになっていますし、午後8時まで開いているので授業の後にじっくり調べものもできます。また、午後7時まで開いているマルチメディア教室では、メールチェックやインターネット検索ができます。全学生にメールアドレスが配付されているので、気軽に利用できます。

ひとり暮らしは大変ですか？

ひとり暮らしも心配ありません。大学の定めるきびしい基準を満たした民間アパート・マンションを西南女学院大学の「指定マンション」にしているからです。女性のひとり暮らしで最も気がかりなのは安全面ですが、指定マンションでは誠実な管理人がいることも条件のひとつですので、その点は心配ありません。料理や洗濯など、ひとり暮らしは大変な面もありますが、自立へのワンステップとして多くの学生のおこがれでもあります。

オープンキャンパス(キャンパス見学会)

7/23(土)・8/21(日)・9/23(金・祝)

いずれの日も13:00-16:30

3大学合同オープンキャンパス

8月7日(日)10:00~16:00

本学・九州国際大学・九州栄養福祉大学の3大学連携巡回バス運行によるオープンキャンパス(入退場自由形式)



西南女学院大学

人文学部 英語学科・観光文化学科

保健福祉学部 看護学科・福祉学科・栄養学科
助産別科

〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

入試課/TEL(093)583-5123 FAX (093)583-5614

Email: nyusi@seinan-jo.ac.jp

ホームページ: <http://www.seinan-jo.ac.jp>

English homepage: <http://seinan-jo.com>

アクセス

JR小倉駅南口下車/西鉄バス「小倉駅バスセンター4番のりば」から

25・27・28番系統乗車(清水経由約30分)

JR南小倉駅下車/西鉄バス「南小倉駅前」から

25・27・28番系統乗車(清水経由約10分)

JR戸畑駅南口下車/西鉄バス「戸畑駅前」から

25・27・28・73・83番系統乗車(一枝経由約20分)

いずれも「西南女学院下」下車

タクシーでは小倉駅・戸畑駅とも本学まで 約20分(1,400円程度)、南小倉駅は約10分(700円程度)



英語学科長

私たちは、学生ひとりひとりのパーソナルケアをすることに最善を尽くしています。学生それぞれはユニークな個性を持っており、私たちはその個性を尊重しているからです。教員の研究室のドアは、私たちと話したい学生のためいつでも開いています。Our doors are always open!

